

## アサヒキャンプの学生さんたち

K・I(中学生保護者。2026年1月記)

アサヒキャンプの学生さんとの出会いは、事務所で行われる説明会（2021年）でした。らんたろう（当時2年目、アサヒ活動年：2020年～2023年）はアサヒキャンプの活動に自信を持って取り組んでおり、こんな一生懸命な学生さんに子どもを預けたいと思いました。我が家の中Sはいつもにこにこ、おしゃべりが大好き。学生さんたちにたくさん名前を呼んでもらい、おしゃべりの相手をたくさんしてもらいます。

アサヒキャンプの活動では予定されていた担当の学生さんが様々な事情で当日変更になることがあります。パパ(PD、プログラムディレクター)が変更になり、前年度パパのらんたろうが対応したことありました。（注：2022年夏いろキャンプのことです）本当に大変だったと思いますが、その姿に元気を頂き、普段からの取り組みの成果だと伝わります。

学生さんの変更、エルモ（アサヒ活動年：2023年～）、ゴロリ（アサヒ活動年：2021年～2024年）、パンくん（アサヒ活動年：2021年～2024年）、凛（アサヒ活動年：2021年～2024年）…。皆さんすぐに情報収集をし、喜んで子どもに溶け込んでいきます。子どもにも保護者にも不安を与えないところ、圧倒されます。この変更はいつも素敵なお会いとなっています。

多くの子どもたちの様子、他の子どもたちと学生さんとの関わりは、そばにいるだけで自分と他者を考えることにもつながります。キャンプではいろいろなハプニングもありますがいつもの形とちがっても、工夫しながら進んでいくこと、全てが学びです。

みんな大好きヘイホー（アサヒ活動年：2022年～2025年）、エルモはいつもやさしいです。ヘイホーは年上、年下の学生さんにも保護者にも子どもたちにもまっすぐ丁寧に関わります。

グループカウンセラー(GC)としてキャンプを子どもたちの近くで過ごしてくれた一年生の学生さんが、翌年パパ、ママ(MD、マネジメントディレクター)として前に出て全体をまとめていく姿は子どもたちにとっても保護者にとってもうれしいです。アサヒキャンプの良さはたくさんありますが、続けて利用させて頂くことによる人との関わりの連続性、キャンプが終わってしまう寂しさがわかるだけに今、この時間の大切さを実感できるところです。

グリちゃん（アサヒ活動年：2020年～2022年）は二度続けて担当になってくれた時、丁寧な個別対応でやさしく接してくれました。

お銀（アサヒ活動年：2021年～2024年）は雨上がりのしあわせ村の芝生で鬼ごっこを真剣にやってくれました。本当に感謝でいっぱいです。

円堂（アサヒ活動年：2022年～2025年）はキャンプのパパを、ママの天ちゃん（アサヒ活動年：2022年～2025年）（天ちゃんも気配りの天才、ちょっとすれ違っただけでも何か困って

ないか、いろいろ考えながらキャンプを進めてくれています)とやって、とてもやさしい気持ちになるキャンプでした。会うとグループ関係なく、素敵なおいさつをすべての子ども、保護者してくれます。

「練習会」では初回担当が円堂で、緊張はあるものの、しっかり準備され、気持ちも整って発表ができました。夏のキャンプ、暑い中、子どもを迎えて行くとうちわを手渡しで貸し出してくれ、笑顔がさわやかすぎて保護者たちもニコニコになります。アサヒキャンプの学生さんはみなさん、ボランティアでありながら、子どもの成長を考え、寄り添い、それが学生たち自身の成長につながる素敵な団体ですが、その中でも円堂は表裏上下全方向に配慮し、子どもたち、保護者、後輩学生の指導、無駄なく丁寧にまっすぐ向き合う姿は心を打ちます。それは子どもにも変化を及ぼし、肩の力を抜いて、何でも言っていい、そのままの自分でいいと、内面を引き出してくれました。

アサヒキャンプに行くとハイホーがいてくれる安心感。いつも一生懸命、落ち着いた雰囲気でやさしい気配りのメリー(アサヒ活動年:2024年~)とひばり(同左)。ちょき(活動年:2023年~)に「グループの担当じゃないときもやさしいってみんな言ってるよー」と言うと「ありがとうございます」と。若いのにこんな言葉をさらっと言われると涙が出ます。

文(あや)(アサヒ活動年:2023年~)は子どものどんな姿も肯定的に受け入れてくれます。学生たちは子どもとの距離感がちょうどいいです。子どもたちを伸び伸びさせつつ全体をまとめ、落ち着きと巧さが光ります。

見えないところでMS(マネジメントスタッフ)としてしっかりキャンプを支えてくれる学生さん。全体を見ながら個別対応に入ります。立派です。

出会いもチャンスも限られていて、自分から動かないと変わらないこともあると知ります。そして自発的に起こした行動は自分の力となると実感します。アサヒキャンプの時間を重ねるほど、保護者との関わりでは難しいエネルギーとスキルが育ち、何年かに少しづつ成長を感じます。その起こるか起こらないかの変化を期待するというよりは結果であり、やはりその過程、アサヒキャンプの活動の良さをしっかり理解して利用させて頂くことが保護者として大切と気づかれます。

保護者と離れて宿泊する、野外での活動、たくさんの遊びやおしゃべり、非日常を求めて保護者はキャンプに送り出しますが、その効果は過去と今をつなぎ、その後も子どもたちの変化へつながります。

アサヒキャンプにたどり着いたご縁、アサヒキャンプでのご縁に感謝です。

いつもありがとうございます。